



# 普及センター もいおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもいおか

検索

第137号平成25年10月21日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

## 農業大学校生の農家派遣実習が 無事終了しました！

岩手県立農業大学校では毎年、農業経営や農家生活の実際を体験的に学習するとともに、農業観や職業観を養うことを目的に、本科1年生の学生が2週間の県内の先進農家に派遣分宿する「農家派遣実習」を行っており、今年度は、下記の日程で開催されました。

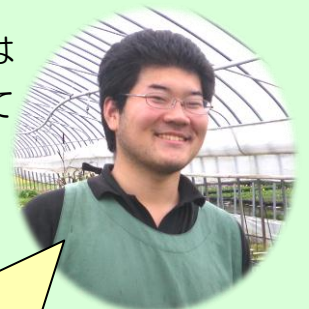
- (1) 野菜・果樹・花きグループ：9月17日(火)～10月1日(火)
- (2) 農産・酪農・肉畜グループ：9月20日(金)～10月4日(金)

八幡平から一関までそれぞれ派遣され、盛岡普及センター管内では、下記11名の生産者の方々に、合計15名の学生を受け入れていただきました！

市町村	受入先	受入区分
盛岡市	藤川 利夫さん	野菜
	北田 晴夫さん	果樹
	高橋 静男さん	農産
	中村 鉄男さん	肉畜
紫波町	高橋 淳さん	農産
	高橋 信さん	農産
雫石町	櫻糺 哲也さん	花き
	松原 永樹さん	酪農
滝沢村	中屋敷 敏晃さん	肉畜
	鈴木 文雄さん	酪農
	坪 幸一さん	酪農

事故等もなく、無事に実習を終了した学生の皆さんの顔つきは見違えるほど(!?)立派になっておりました('▽')

今後の農大生の各分野での活躍が待ち遠しいですね☆



↑花き経営科の学生

**僕たちを受け入れてくださった皆様！  
本当にありがとうございました！**



### 大豆・小麦の生産に情熱注いでます！！

左の写真は紫波町の「農事組合法人 ゆいっこの里犬草」がH24年度全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受賞した時の写真です。また、小麦では「農事組合法人 アグリ赤林」がH25年度岩手県麦作共励会で最高位である知事賞を受賞し、東北ブロックへ推薦されたところです。

岩手県の気象は大豆や小麦の生産に適しているとは言えませんが、みなさんの熱意と丁寧な作業が素晴らしい結果を生み続けています。



# 今年も！土壌診断の受付を始めました！

今年度も土壌診断の受付が始まりました！土壌分析は、全農土壌分析センターと盛岡農林実験室の2か所で行いますが、農業者によって申し込み先と受付期間が異なるので注意してください！！

## 《土壌診断の申し込み先・受付期間》

	JA の生産部会員	JA の生産部会員 <b>以外</b> の農業者
受付期間	受付中～ <b>12月27日(金)</b>	<b>11月5日(火)～1月31日(金)</b>
分析機関	全農土壌分析センター	盛岡農林実験室
申し込み先	各農協の営農センター	農業改良普及センター

**※農業者によって申し込み先と受付期間が異なるので注意してください！！**

## 《土壌の採取方法》

- ①ほ場の5か所から取り（図1）、混ぜたものを1つの圃場分とします。
- ②土を取るときは、表面の土をよけ、その下の15cm程度までの深さの土を目安に取りましょう（図2）。

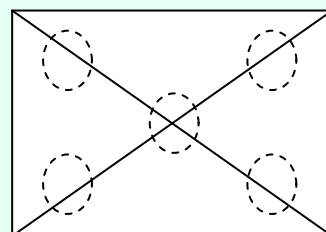


図1.土壌の採取地点

## 《採取土壌の調整・提出方法》

- ①採取した土壌を新聞紙に広げて乾かします。
- ②ふるいにかけるなどして、根やゴミなどを土から取り除いてください。
- ③乾かした状態でお茶碗1杯分(200～300g)をビニール袋に詰めて、出品明細として名前・ほ場名・市町村・作物名（前作・予定作）を記入したものをビニールに貼りつけ（図3）、申し込み先に提出してください。

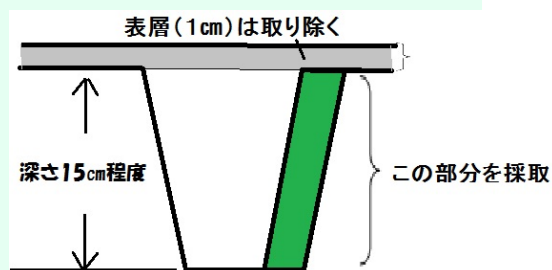


図2.土壌の採取部分



図3.提出土壌の例

- 土壌診断結果は、申し込みの機関を通じて返却されます。
- 冬期間は、申し込みが集中するため診断に時間がかかります。  
⇒結果を早く知りたい方は、余裕をもって早めの申し込みをお勧めします。

